

第 66 回 日本ブドウ球菌研究会

プログラム・抄録集

世話人 菅井基行
国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター
開催地 Web 開催
会期 2022 年 10 月 29 日 (土)

第 66 回日本ブドウ球菌研究会

大会長（世話人） 菅井基行

（国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター センター長

/広島大学大学院 医系科学研究科 客員教授）

- ◆ 会期：2022 年 10 月 29 日（土）
- ◆ 会場：Web 開催
- ◆ 事前参加登録：
 - 10 月 21 日（金）までに、申込メールアドレス（jsssi@saikin.hiroshima-u.ac.jp）宛にお申込みください。氏名（ふりがな）、連絡先（所属先、住所、電話番号、メールアドレス）をご記載ください。
 - 登録者には別途、当日のアクセス情報をお送りします。
 - 参加費は無料です。参加証（紙媒体）が必要な方は送付先のご住所、宛先等をお知らせ下さい。お申し出を頂けましたら発行致します。
- ◆ 受付：
 - 当日は 12:30 より zoom アクセス可能です。
- ◆ 運営委員会：
 - 本年度の運営委員会は 10/29（土）11:00~11:30 に zoom にて行います。運営委員の先生方に、後日資料と共に zoom アクセル URL をお送り致します。
- ◆ 懇親会：
 - 第 66 回日本ブドウ球菌研究会での懇親会はありません。

第 66 回ブドウ球菌研究会 タイムスケジュール

10 月 29 日 (土)

12:30 ~	Web 会場への入室開始
13:00 ~ 13:10	開会の挨拶 (菅井 研究会会長)
一般演題	
13:10 ~ 13:35	O-1 金子 寛 (東京薬科大学)
13:35 ~ 14:00	O-2 渡邊 真弥 (自治医科大学)
14:00 ~ 14:25	O-3 下田 蒼 (東北大学)
14:25 ~ 14:35	休憩
14:35 ~ 15:00	O-4 池亀 凌 (東北大学)
15:00 ~ 15:25	O-5 今井 梨奈 (岡山大学)
15:25 ~ 15:50	O-6 沓野 祥子 (国立感染症研究所/広島大学)
15:50 ~ 16:00	休憩
16:00 ~ 16:25	O-7 鈴木 優仁 (広島大学)
16:25 ~ 16:50	O-8 Aa Haeruman Azam (国立感染症研究所)
16:50 ~ 17:15	O-9 Tan Xin-Ee (自治医科大学)
17:15 ~ 17:40	O-10 内山 淳平 (岡山大学)
17:40 ~ 17:50	総会
17:50 ~ 18:00	閉会の挨拶

座長の先生方へ

本研究会の伝統により、一般演題は、前席の発表者が次席の発表の座長を担当して頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

一般演題発表者の先生方へ

1) 発表時間は 25 分（配分目安: 発表 15 分+質疑 10 分）以内でよろしくお願い致します。

なるべく質疑時間を多めにとり、多くの議論を設ければと思いますので、発表時間配分をよろしくお願い致します。

2) 講演開始後 15 分で 1 回、20 分で 2 回、25 分で 3 回、チャイムが鳴ります。

3) 各自のパソコンより発表をお願い致します。可能な限り有線 LAN にて web 会議システムに接続下さい。発表時間になりましたら、web 会議の画面より「共有（画面の共有）」をクリックし、発表用ファイルを選択して下さい。

なお、発表用ファイル（音声や動画付は不可）を下記の広島大学 Nextcloud（アップロードだけ可能）まで事前にアップロードをお願いします。万が一、不具合が生じて発表用ファイルの共有が演者側でできない場合、バックアップとして、事務局にて発表用ファイルを共有して演者の方には声だけで発表をして頂きます。

<https://fshare.hiroshima-u.ac.jp/nextcloud/index.php/s/sW7DpaMy5PGz7NG>

参加者の皆様へ

1) 第 66 回日本ブドウ球菌研究会は、zoom を介した Web 開催とします。

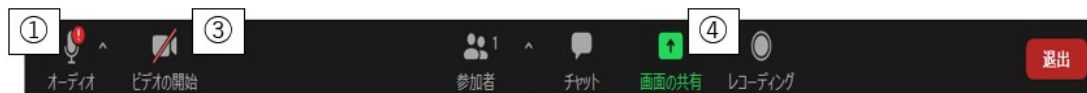
2) 発表内容の録音、写真撮影、ビデオ撮影、スクリーンショット等の PC 上での動画・静止画のキャプチャは禁止です。

3) 以下、Web 会議画面の説明です。

① 発表者以外は、マイクを必ずミュート設定にしてください。

③ カメラの ON/OFF 設定にご注意ください。

④ ファイル・画面の共有は④をクリック後、共有したいファイルを選択してください。



➤ ブドウ球菌研究会ご参加希望の方は、jssi@saikin.hiroshima-u.ac.jp に参加申込ください。折り返しに Zoom URL をお伝え致します。

➤ 緊急事の連絡先

国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター

Tel : 042-202-8237 担当 : 荒井

E-mail : jssi@saikin.hiroshima-u.ac.jp

演題プログラム

10月29日(土) オンライン開催 (Zoom)

12:30～ Zoom 入室可

13:00～13:10 開会挨拶 菅井 基行 (国立感染症研究所)

13:10～14:25 一般演題 1～3

1. 本邦における PVL 陽性 MRSA の流行状況

○金子 寛、中南 秀将
東京薬科大学・薬学部・臨床微生物学教室

2. Oxacillin 感性 MRSA における β ラクタム薬高度耐性化機構の解析

○渡邊 真弥, Tanit Boonsiri, Chijioke Nsofor, Xin-Ee Tan, Kanate Thitianapakorn, 相羽 由詞, 崔 龍洙
自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座細菌学部門

3. マダニ由来抗菌ペプチドに対する耐性変異株の取得と性状解析

○下田 蒼、安藤太助、戸部隆太、米山 裕
東北大学 農学研究科 動物微生物学研究室

14:25～14:35 休憩

14:35～15:50 一般演題 4～6

4. 抗菌性コーティング資材の黄色ブドウ球菌に対する抗菌活性

○池亀 凌¹、下田 蒼¹、金 世怜²、若間洋輔²、山田治男²、中尾友則²、
戸部隆太¹、安藤太助¹、米山 裕¹
¹東北大学・農・動物微生物学、²YOO コーポレーション

5. 黄色ブドウ球菌 RpoB の変異は酸化ストレス感受性化とマクロファージ内での生菌数低下をもたらす

○今井梨奈、石川一也、古田和幸、垣内力
岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 分子生物学分野

6. 非脱アセチル化ポリ-N-アセチルグルコサミン過剰産生黄色ブドウ球菌はボルテックスにより自己凝集を引き起こす

○沓野祥子^{1,2}、林幾江²、于連升¹、山田作夫³、久恒順三¹、菅井基行¹

¹国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター、²広島大学 大学院医歯薬保健研究科、³川崎医科大学 微生物学教室

15:50～16:00 休憩

16:00～17:40 一般演題 7～10

7. 表皮ブドウ球菌由来バクテリオシン Pep5 の解析および黄色ブドウ球菌における菌体表層チャージを介した Pep5 耐性因子の検証

○鈴木 優仁、松尾 美樹、Le Ngyuen Tra Mi, 小松澤 均
広島大学大学院 医系科学研究科 細菌学研究室

8. Construction of a killer phage capable to eradicate MRSA USA300

○Aa Haeruman Azam¹, Kohei Kondo², Tomohiro Nakamura³, Shinjiro Ojima¹, Longzhu Cui⁴, Kotaro Kiga^{1,4}

¹ Therapeutic drug and vaccines development research center, The National Institute of Infectious Disease, Tokyo, Japan, ²Antimicrobial resistance research center, The National Institute of Infectious Disease, Tokyo, Japan. ³ Laboratory of veterinary biochemistry, Department of veterinary medicine, Rakuno Gakuen University, Hokkaido, Japan. ⁴Division of infection and immunity, Department of bacteriology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan.

9. Isolation and characterization of a broad-host-range staphylococcal phage for the loading of CRISPR-Cas system

○Tan Xin-Ee, Kotaro Kiga, Shinya Watanabe, Yusuke Sato'o, Yoshifumi Aiba, Teppei Sasahara, Kanate Thitiananpakorn, Aa Haeruman Azam, Li Feng-Yu, Longzhu Cui
Division of Bacteriology, Department of Infection and Immunity, School of Medicine, Jichi Medical University

10. ブドウ球菌ファージ S6 を使用したウラシル含有 DNA ゲノムを有する巨大ファージ群の系統解析

○ 内山淳平¹、内山伊代¹、後藤和義¹、加藤伸一郎²、阪口義彦³、村上裕信⁴、福山朋季⁴、金木真央⁴、松下治¹、松崎茂展⁵

¹岡山大学、²高知大学、³北里大学、⁴麻布大学、⁵高知学園大学

17:40～17:50 総会

17:50～18:00 閉会の挨拶